

第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の令和6年度実績に対する評価等について

基本方針1：地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通網の構築

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	数値目標（令和7年度）
目標1	広域の移動の確保	1-1	■市内の鉄道駅での乗車数	13,337,553人/年	14,211,454人/年	15,548,264人/年	16,476,107人/年	17,900,000人/年

目標		数値目標	評価項目	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	数値目標（令和7年度）
目標1	広域の移動の確保	1-2	■航路の利用者数	27,220人/年	91,474人/年	161,741人/年	193,155人/年	300,000人/年
		1-3	■一般路線バス（幹線・準幹線）の利用者数	2,037,012人/年	2,282,498人/年	2,746,136人/年	2,797,325人/年	2,900,000人/年

確認指標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	数値指標（令和5年度） （指標設定時の最新の数値）
目標1	広域の移動の確保	—	■補助対象の一般路線バス（幹線・準幹線）の収支率			51%	54%	51%

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和6年度取組状況 （計画期間5年目）	評価	令和7年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標1	広域の移動の確保	事業1-1	鉄道の利便性向上の要請	鉄道事業者へダイヤ改正や増便、利便性の向上に資する施設整備等を働きかける。			継続実施				津市、三重県	三重県鉄道網整備促進期成同盟会を通じJR東海に対し、交通系ICカード利用可能エリアの拡大、バリアフリーの取組等による利便性のさらなる改善について要望を行った。	○	今後も引き続き、利用者から寄せられる鉄道の利便性向上に係る意見等を整理し、必要に応じて事業者への要望を行う。
		事業1-2	一般路線バス（幹線・準幹線）の維持	計画において定めるサービス水準での運行継続に努めるとともに、利用が少ない路線については、代替手段を講じるなどして移動手段の確保に努める。			継続実施				三重交通、津市、三重県	計画において定めるサービス水準をおおむね維持した。 また、利用実績の少ない穴倉・殿舟団地線、亀山棕本線及び津太陽の街線を対象に利用促進を行った。	○	今後も引き続き、利用実績を確認しながら利用実績の少ない路線を対象に、津市において利用促進を行う。
		事業1-3	隣接自治体との連携	隣接自治体への乗入路線について、当該自治体と連携し、維持及び活性化に努める。			継続実施				津市、三重県	隣接自治体への乗入路線のうち、自主運行バス亀山棕本線においては亀山市と連携し令和6年12月に利用促進チラシを作成し、広報と同時配布を行った。また、一般路線バスの津太陽の街線においては鈴鹿市と連携し、利用促進のチラシの配布を行い路線の維持及び活性化に努めた。また、利用者が減少している奥津線について、関係者間で協議を行った。	○	今後も引き続き、利用促進チラシの配布等を行い、路線の維持及び活性化に努める。
		事業1-4	航路の維持・向上	情報発信等のPR事業により、航路を活用した観光振興への取組を推進する。			継続実施				津エアポートライン 津市、三重県	津なぎさまち開港20周年記念シンポジウムの開催により、津なぎさまちの重要性を改めて認識し、認知度向上や活性化、海上アクセスの利用促進を図った。併せて、ホームページやFacebook等を活用してイベント情報の発信を行った。 また、令和6年12月から令和7年2月にかけて、一般路線バスの運行がない時間帯に、津駅前発着の無料シャトルバスの実証運行を実施した。	○	令和7年度においても、津なぎさまちフェスタ等においてPR活動を行い利用促進を行う。

令和6年度の取組に対する評価の凡例

○：計画通り実施
△：一部実施、内容を変更して実施・実施したものの計画に定める水準を満たしていない
×：未実施

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	数値目標（令和7年度）
目標2	日常生活における移動の確保	2-1	■一般路線バス（市内線）の利用者数	499,393人/年	522,236人/年	899,200人/年	952,400人/年	740,000人/年
		2-2	■コミュニティバス等（支線）の利用者数	75,307人/年	83,655人/年	87,448人/年	94,081人/年	110,000人/年

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和6年度取組状況 （計画期間5年目）	評価	令和7年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標2	日常生活における移動の確保	事業2-1	一般路線バス（市内線）の維持	計画において定めるサービス水準での運行継続に努める。			継続実施				三重交通	計画に定めるサービス水準をおおむね維持した。	○	今後も引き続き、運行事業者と情報共有を密にし、必要に応じて利用実績の少ない路線の利用促進を行うことで、路線の維持及び活性化に努める。
		事業2-2	コミュニティバス等（支線）の維持	コミュニティバスを運行し、日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、鉄道、一般路線バスと接続させる。			継続実施				津市、バス事業者	コミュニティバスの運行を維持することで、鉄道や一般路線バスのサービスを享受することができない地域について、通院や買い物等の日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、鉄道及び一般路線バスへの接続を確保した。	○	今後も引き続き、利用状況の把握に努め、適宜運行時刻や路線を見直しながら、運行を継続する。また、令和8年度に実施を予定しているコミュニティバスの再編に向けて、地域の意見を踏まえ、より地域に適した運行計画の作成を進める。
		事業2-3	各種施設への乗り入れ	要望があった場合は需要を精査した上で大型商業施設や公共施設等への乗り入れを行う。			随時実施				津市、バス事業者、関係施設	令和6年10月1日に「明合公民館」へ乗り入れを行った。	○	今後も、必要に応じて施設への乗り入れを検討、実施する。特に、令和8年度に予定しているコミュニティバスの再編に向けて、地域の移動ニーズを踏まえて新たな施設への乗り入れを検討する。
		事業2-4	新たな交通サービスの研究	人口が減少する中で、鉄道、航路、乗合バス、タクシーといった既存の交通手段だけでなく、新たな交通手段の導入が必要となる可能性があることから、オンデマンド交通やカーシェア等の新たな交通サービスについて研究する。			随時実施				津市	令和8年度に実施予定のコミュニティバスの再編に向けて、市内3地域（美杉地域全域、安濃地域及び津地域の一部）でデマンド型交通の実証実験運行を実施し、課題や問題点の検証を行った。また、各地域で「地域公共交通あり方検討会」を開催し、地域の意見を聞きながら再編に向けた検討を進めた。	○	コミュニティバス再編でのデマンド型交通導入を目指して、引き続き各地域に適した運行方法について検討を進める。

基本方針２：地域ニーズと持続性を両立させた公共交通サービスの提供

確認指標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度実績（決算見込み額）	数値指標（令和４年度） （指標設定時の最新の数値）
目標３	バス路線の運行効率化	—	■公共交通に係る市の負担額			1億7,218万円	1億8,102万円	1億6,499万円

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和6年度取組状況 (計画期間5年目)	評価	令和7年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6	R7					
目標3	バス路線の運行効率化	事業3-1	自主運行バス（廃止代替バス）の見直し		7路線の自主運行バスについて、利用実態や地域特性を踏まえ、「移動ニーズ・利用実態の反映」、「他交通機関との役割分担の整理」、「地域特性の考慮」の3つの方向性に基づき見直しを実施する。	見直し			随時実施			津市	令和3年4月1日付けで、計画に示す3つの方向性に基づき7路線から4路線に見直しを行っており、令和6年度は見直し後の路線の利用状況の把握に努めた。	○	現行路線の利用状況の把握に努めながら、コミュニティバスの次期再編に合わせて現行路線の見直しに向けた検討を進める。
		事業3-2	津市コミュニティバスの再編		より効率的かつ利便性が高いものにするため、「移動ニーズ・利用実態の反映」、「他交通機関との役割分担の整理」、「地域特性の考慮」の3つの方向性に基づき、令和2年度に再編を、令和3年度以降においては随時見直しを実施する。	再編			随時見直し			津市	計画に定める3つの方向性に基づき、令和3年4月1日付けで再編を行ったコミュニティバスの運行について、地域からの要望等を受け、令和6年7月1日に北部地域、同年8月15日に南部地域、令和7年1月15日に南部地域、南西部（美里）地域の運行変更を行った。	○	今後も引き続き、利用状況の把握に努めながら、適宜運行時刻や路線の見直しを行う。
		事業3-3	乗り継ぎ拠点の設定	ダイヤ設定	鉄道に合わせた一般路線バス並びに鉄道及び一般路線バスに合わせたコミュニティバス等のダイヤを設定し、乗り継ぎを確保し、案内の充実を図る。			継続実施				津市、三重交通、 その他交通事業者	令和3年4月1日付けで乗り継ぎに配慮した見直し及び再編を実施した自主運行バス及び津市コミュニティバスについては、運行変更を行った際にも、鉄道及び一般路線バスに合わせたダイヤ設定を行い乗り継ぎを確保した。 また、令和6年度は、一般路線バスのダイヤ変更に合わせて乗り継ぎが確保できるように、コミュニティバス南西部（美里）地域のダイヤ変更を行った。	○	ダイヤ変更については、運行事業者間での情報共有を密にし、乗り継ぎが確保されるよう努めるとともに、利用者への適切な案内についても随時行う。
				案内の充実		案内作成		時点更新							
		事業3-4	住民主体型の移動手段の推進		地域住民が運営主体となり運行する地域の実情に応じたデマンド型交通等のコミュニティ交通に対し、補助金を活用した支援を行う。			随時実施			津市	令和6年度は、利用者の減少により、申出のあった上佐田自治会及び二俣区での運行廃止の協議を行った。事業を継続実施している高松山団地自治会については、補助金の交付を行った。	○	令和7年度については、引き続き高松山団地に対し支援を行うとともに、移動手段の確保を必要とする地域に対して制度の周知を行う。	

基本方針３：利用促進につながる移動環境の提供

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和６年度取組状況 (計画期間５年目)	評価	令和７年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標４	快適な移動環境の整備	事業4-1	待合環境等の整備	公共交通に係る車両のバリアフリー化及びバス停における待合環境の整備に努める。 また、鉄道駅においても、駅舎のバリアフリー化を始めとした、待合環境整備に努める。	随時実施						津市、三重交通、 その他交通事業者	交通事業者において、車両更新に当たって、ノンステップバス等のバリアフリー新法適合車両の導入等を進めた。また、津市においては、敷地内に設置してあるぐるっと・つーバス「市役所前」停留所に利用者が利用できるベンチを設置した。	○	今後も公共交通に係る車両のバリアフリー化や、バリアフリー化を始めとした待合環境の整備に努める。 鉄道駅については、市内にある１日の乗降人員が３、０００人以上の駅については整備が完了しており、今後も鉄道事業者が主体となり、計画的に整備を進めていく。
		事業4-2	定時性確保のための渋滞緩和	一般路線バスを中心とした乗合バスの定時性を確保するために、三重県道路交通渋滞対策推進協議会が中心となり、渋滞緩和のための取り組みを実施する。	継続実施						三重県、津市、 三重県警察、 その他道路管理者	大谷踏切対策工事が完了し、令和６年１２月に開通した。開通後の効果としては、国道２３号の主要渋滞区間及び箇所である上浜町二交差点周辺の速度の向上が見られる。	○	津市においては、平成２８年に着工した市道塔世橋南郊線の津興橋の架け替え工事を引き続き実施する。 各実施主体においても、交通運用の適正化や交通マネジメント対策及び道路整備等の渋滞対策に係る取組を引き続き実施する。

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和６年度取組状況 (計画期間５年目)	評価	令和７年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6	R7					
目標５	公共交通に関する情報の管理と提供	事業5-1	バスロケーションシステムの充実		バスの位置情報を把握できる「バスロケーションシステム」の導入及び対応エリアの拡大等を進める。	随時実施						三重交通	津市内においては、導入が完了しており、一般路線バス全線について継続してバスロケーションシステムを運用した。	○	今後も引き続き、当該サービスの運用を継続する。
		事業5-2	来訪者（特に外国人）への情報提供	案内整備	観光関連事業者と交通関係事業者等が連携し、来訪者に優しい環境づくりや、観光客の利便性の向上を図るとともに、効果的な情報発信に取り組む。							津市、三重交通、 その他交通事業者	各交通事業者において、多言語に対応したHP等での情報提供を行っている他、旅客船ターミナル、鉄道駅、バス停及びバス車内の案内についても、ビクトグラム表記や多言語表記がなされている。 津市においては令和４年度より英語で美杉地域の観光ルートについて路線図及び時刻表をHPに掲載し、英語表記のグーグルマップへのリンクを行っている。	○	今後も引き続き、当該取組を継続する。
				情報提供		継続実施									
		事業5-3	紙媒体による情報提供		利用者の更なる利便性向上に資するため、津市内の鉄道並びに一般路線バス及びコミュニティバス等を一体的に扱った路線図を作成する。	路線図作成	時点更新				津市	既に作成している各地域のコミュニティバス案内チラシのうち、在庫の少なくなっていた南部地域のチラシを増刷し、引き続き本庁及び各総合支所等での配布を行った。	○	今後も適宜運行時刻や路線の見直しを行った際に、他の公共交通機関やコミュニティバスとの接続状況の分かる乗り継ぎ案内を時刻表と併せて作成し各戸配布する。	
		事業5-4	公共交通データの標準化及びオープン化	標準化	インターネット等の経路検索におけるバス情報の拡充を目的として、公共交通の時刻情報や地理的情報を各経路検索アプリの管理事業者に受け渡すため、一般路線バス及び津市コミュニティバス運行情報に係る「標準的なバス情報フォーマット」を津市ホームページで公開する。 また、将来的には、当該データを活用し、津市の地域特性を生かしたMaaSの導入ができるよう事例の研究を行う。							三重交通	コミュニティバスについては、令和３年度に三重県生活交通確保対策協議会にて推進している「公共交通ネットワーク見える化事業」に参画し、データの標準化及びオープン化を推進したことで、令和４年４月からグーグルマップ上で津市コミュニティバスのルート検索が可能となり、令和６年度はルート等の変更に合わせてデータの更新を行った。 また、MaaSについてはHP等により先進事例の研究を行った。	○	今後も引き続き、ルート等の変更に合わせてデータの更新を行う。
標準化及びオープン化							三重県、津市								
MaaSの研究	随時実施						三重交通、津市								

基本方針４：市民による自発的な行動の促進

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和6年度取組状況 (計画期間5年目)	評価	令和7年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標6	公共交通を担う人材の育成	事業6-1	運転手不足への対応	社会問題になっているバスの運転手不足への対応として、交通事業者においては、積極的な採用活動を継続し、津市においては、運転手不足の実情について情報の発信に努める。			継続実施				交通事業者、津市	交通事業者において新規採用に係る説明会等の積極的な活動を行なった。 また、三重交通では全国各地でのセミナー開催やマンツーマンを基本とした「オンラインお仕事説明会」の開催などインターネットを活用した情報発信、県と連携した採用活動など人材確保に向けて様々な取組を実施した。	○	今後も引き続き、交通事業者において積極的な採用活動を実施する。 津市において、必要に応じて広報等の媒体を活用し、運転手不足の実情について情報発信する。
		事業6-2	住民主体型の組織設立支援	「地域公共交通あり方検討会」にて、地域住民が積極的に参画できる体制を整えるとともに、住民主体型の組織の設立等の希望があった場合は、実例や各種制度の情報提供等の支援を行う。			継続実施				津市	各地域で「地域公共交通あり方検討会」を開催し、地域公共交通に対する地域住民の意見を聴取した。	○	今後も引き続き、「地域公共交通あり方検討会」を開催し、令和8年度のコミュニティバス再編に向けて地域住民の意見を聴取し、地域公共交通の見直しを行っていく。また、今後住民主体型の組織の設立等の希望があった場合は、実例紹介や各種制度の情報提供等の支援を行う。

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	数値目標（令和7年度）
目標7	公共交通に関する市民の意識向上	7-1	■モビリティ・マネジメントや利用促進イベント等実施数	4回/年	9回/年	9回/年	7回/年	7回/年

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業			事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和6年度取組状況 (計画期間5年目)	評価	令和7年度以降の方向性
						R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標7	公共交通に関する市民の意識向上	事業7-1	J R名松線の活性化	案内整備	通学、通院、買い物等の日常生活における移動に加え、「JR名松線そのもの」を観光資源と位置づけ、他の観光資源との連携を図るなどし、美杉地域を始めとした沿線地域の活性化を目指す。							津市、三重県、 その他交通事業者	イベントでの名松線写真パネル展示や利用促進グッズの配布によりPRを行った。また、令和3年度に作成したJR名松線沿線の観光地情報を発信するための専用ホームページを活用したPRを行った。	○	令和7年度は、名松線の全線開通90周年を迎えることから、90周年記念事業の実施や、イベント、インターネットを活用し、沿線観光地等のPRを実施していく。
				情報提供				継続実施							
		事業7-2	利用促進イベントの実施		公共交通の利用を促進するため、イベントを実施する。			継続実施				津市、三重県、 中部運輸局、 三重交通	津まつりにおけるお絵かきバスやバスの乗り方教室等のPRイベント、9月20日の「バスの日」には津駅前で行った。	○	今後も引き続き、津まつりにおけるお絵かきバスやバスの乗り方教室等のPRイベントや9月20日の「バスの日」利用啓発活動を行う。
		事業7-3	広報紙やホームページ等による広報		公共交通の利用を促進するため、広報紙及びホームページ等で公共交通に関する情報を提供する。			継続実施				津市、三重交通、 その他交通事業者	各実施主体において、継続して情報の提供を行った。特に、コミュニティバスについては、運行変更の実施に際し利用者への周知を徹底した。	○	今後も引き続き、各実施主体において、継続して必要な情報の提供を行う。 特に、コミュニティバスの運行変更時には、運行変更チラシを広報紙と同時配布するなど、広く利用者への周知を行う。
		事業7-4	モビリティ・マネジメントの実施		WEBサイトを活用した啓発活動を引き続き実施するとともに、民間企業、学校、高齢者向けイベント等と連携し、対象を明確化したモビリティマネジメントを実施する。			継続実施				津市、三重県	令和6年度はバスの乗り方教室を津まつりにおいて実施した。	○	今後も引き続きイベントと連携するなどして、バスの乗り方教室等のモビリティマネジメントを実施する。
		事業7-5	運転免許証返納に対する支援		各交通事業者において、運転免許証自主返納者を対象とした割引制度を引き続き運用するとともに、当該制度や高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）をチラシやホームページ等で周知する。			継続実施				津市、三重県、 三重交通、 その他交通事業者、 三重県警察	三重交通やタクシー事業者において割引制度を、また津市において高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）を引き続き実施し、割引制度等の取組をチラシやホームページ等で周知した。	○	交通事業者において割引制度を、また津市において高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）を引き続き実施するとともに、割引制度等の取組をチラシやホームページ等で周知する。